

第 379 回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2021 年 6 月 28 日 (月)
- 2 開催場所 リモート開催
- 3 委員総数 8 人 出席委員 8 人

出席委員

若杉 隆平 委員長	田村 明子 副委員長
飯塚 智 委員	富田 智晃 委員
大久保千春 委員	柳川かおり 委員
本宮 宏美 委員	迫 一成 委員

会社側出席者

代表取締役社長	小山 章司
取締役コンテンツ本部長	寺内 邦彦
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	羽田 朗
報道制作局長	竹野 和治
制作部長	須山 司
合評番組監督	時田 美昭
事務局	道場拓哉 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「TeNY開局40周年記念 夢は牛のお医者さん」

[2021年5月7日(金) 18:15-19:56放送]

(説明：監督 時田美昭)

2) 会社報告

①5月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)

③訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「34年前、『小学校に3頭の牛が入学』というニュース取材に行った際、4年後にその小学校が廃校になることを聞き、廃校までのつもりで取材を始めた。主人公の知美さんは当時から『将来は牛のお医者さんになりたい』と言っていたが、その時には単純に『子供の夢だなあ』と思い、インタビューをとることもなかった。廃校からさらに4年経ち、あの子供たちはどうしているかと知美さんの自宅へも電話をしてみると、父親から『知美は上越の高田に下宿している』との回答があり、獣医を目指し遠く離れた高田の進学校で学んでいるという彼女の夢に対する強い決意を知った。大学受験に失敗したら放送しないという条件で密着取材を始め、大学受験や獣医の国家資格合格を取材し、それまでの16年間をまとめた特別番組を放送。その番組の最後に『彼女の夢がゴールしました』とナレーションを入れたところ、それを見た知美さんから『夢はまだゴールしていない。やっとスタートラインに立てただけ』と電話をもらい、これからも彼女が夢を叶えるところを見届けよう、仕事の喜びを表現しようと取材を続けた。映画化については、2011年の東日本大震災発生後に宮城県南三陸町を取材で訪れた際、下を向いている男の子の姿を見

て、被災地の子供たちにも『夢は牛のお医者さん』を見て元気になってもらいたい、そのためには新潟県域の地上波ではなく映画にしたいと考えた。」という主旨の説明があった。

(委員の意見)

●親の背中を見て育っていることや、夢を持つことの大事さを感じた。酪農は商売という話があり、すべてが甘いわけではないという価値観の中で、現実を見ながらそれでも獣医になりたいという知美さんの強い思いが伝わった。

●ナレーションの声の感じやリズムがよかった。音楽もちょうど心地よかった。

●26年間もの長い間、ひとりの人を追いかけて続けた監督の執念、映像の説得力が表現されていた。さらに現在の知美さん、両親の元気な様子も取材されており、まるで家族の一員になったような気持ちで見ることができた。

●努力をしていくこと、夢を叶えたいと長い間思い続けることなど、知美さんに自分自身を重ねる部分が多かった。さらに、親や祖母からの目線でも感情移入できる場所が多く、老若男女問わず受け入れてもらえる作品だと思う。

●ドキュメンタリー映画を初めてみた。夢を追う姿勢を多くの子供たちに見てほしい。また親としては、子供が何をしたいのか、夢を叶えようとする環境を作れているのかを考えさせられた。

●合格発表を受け取る様子など、よく取材できたな、知美さんも取材をよく引き受けてくれたな、と感心する場面が多かった。

●出稼ぎに出る人たちを集落のみんなで見送るシーンが、肩を寄せ合って暮らしてきた集落で子供たちが育ってきたことを象徴していた。どの学校でも真似をできるような教育ではなく、あの小学校、あの環境だったからこそ生まれた奇跡的なシーンも多くあった。「自信がなければ受けません」という一言に、家族に負担をかけてはならない、受からないなんて思っはいけないと、自分を律する知美さんの思いが凝縮されていた。

●知美さんの人生はまだ続いており、負担になっていないかな、と思うことも

あったが、その都度本人に了解を得て取材していることが今回の説明でわかってよかった。

●派手なシーンはなくとも1時間30分があつという間に感じた。疲弊している地方に元気や勇気を届けられるような映画を作ってくれてありがとう、という思いになった。

●物語の始まりは昭和62年(1987年)。世間はバブル景気が始まって2年という時代の中、地方にこのような光景があつたと伝える記録としても貴重な。大学受験の知らせはレタックスで、獣医の国家試験合格を伝えたのは携帯電話で、など時代の流れも感じられた。

●獣医になってからの、放送時間にして30分ほどが充実していた。採血、妊娠検査、実家の牛の出産、中越地震の現場にも知美さんがいた。とにかく圧巻だった。やりがいをもって仕事をする、人から頼られるようになることのすばらしさが伝わった。

●村での運動会のシーンなど、産んだ人だけが責任を持って育てるというだけでなく、地域全体で子供たちを育てているということが伝わってきた。

●取材対象に寄り添い、関係を築き、なかなか撮れないようなシーンや表情もよくおさえていた。テレビ新潟の番組作りの理念を改めて感じ、大切に伝えていくべき作品だと確信した。

●日本にもっとも勢いがあり、世界の中で日本がもっとも大きく見えていた頃、美しいが厳しい環境の山間の集落と、その頃の日本とは時間的、空間的な距離が感じられて、まるでおとぎ話のように思えた。

●取材をしている時には先がどうなるかわからないという中で、合格するかわからない受験のシーン、電報が届くシーンなどは、取材される側とする側の信頼感があったからこそ撮影できたもので、誰にでもできることではない。またテレビ新潟が放送して終わりとせず、その後も取材対象者をフォローすることで信頼を得ている報道機関であるという背景もあつたからこそだと感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月……292件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2021年5月24日)から、昨日(2021年6月27日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第378回審議会では、

「トンネルの先に 湯沢町と私の未来図」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第378回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第378回番組審議会議事録
- ・5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(N0.226) ・民間放送新聞(2180、2181、2182号)

以上